

「流域自治」「流域連携」による流域社会づくり

特定非営利活動法人しりべつリバーネット

<取組の概要・特色>

しりべつリバーネットは、尻別川とその流域において、生活の基盤と水環境の保全と創造、地域の歴史や文化の涵養と愛護等とおし、市民を中心に産・官・学が垣根をこえてコミュニケーションを深め、豊かで特色ある健全な流域社会をつくっていくことを目的に、平成8年12月に設立されたネットワークです。

流域に暮らす流域住民と、尻別川を大切に思う全世界の人々が、自ら考え、議論し、行動して、流域の問題を解決していく「流域自治」、「流域連携」を目指し、環境保全活動、自然体験活動、防災勉強会、情報発信や情報交換など、幅広い活動を行っています。

■平成27年度の実践例

○水辺の楽校・子供の水辺安全講座

尻別川の自然環境や生態系、地域との関わり、川の危険等を楽しく学んでもらうために、児童と教員等を対象に、倶知安町で「水辺の楽校」を、蘭越町で「子供の水辺安全講座」を開催しました。自然体験活動や救急救命の専門指導者を配置し、内容の充実を図っています。



(水辺の楽校)

○尻別川クリーン作戦

全道各地の尻別川ファン約320名が参加し、蘭越町内約25km間の河川堤防内外で、徒歩とカヌー30艇・ラフティングボート9艇を使用して清掃活動を実施しました。2tトラック2台分のごみを収集し水環境の保全に努めました。

○フットパスイベント

真狩村とニセコ町でフットパスイベント開催し、合わせて160名が参加しました。尻別川流域の類い希な生物多様性と羊蹄山をバックボーンとした水環境により育まれてきた文化・歴史・産業・景観等の資源を地域の魅力として再認識するとともに、内外に発信しました。



(RAC 全国大会)

○第15回川に学ぶ体験活動 in 尻別川

毎年全国各地で開催されているRAC全国大会をしりべつリバーネットが主幹し、北海道で初めて開催しました。全国から319名が参加し、講演、交流会などのほか、カヌーツーリング、鮭遡上ウォッチング、記念植樹などを実施し、全国各地の活動者と交流を深めました。

○C.W.ニコル氏講演会

作家、ナチュラリストであるC.W.ニコル氏をお招きし、ニセコ町で講演会を開催しました。「心に木を植える」をテーマに講演いただき、約250名が参加しました。

○防災勉強会、防災意識向上講演会

尻別川での災害に備え、住民等を対象とした勉強会を2回、講演会を3回実施しました。勉強会では、災害図上訓練(DIG)を実施、避難所、食料基地、病院、災害時要援護者などの確認、トリアージの考え方について基本的知識を共有するなど、防災意識の向上に努めています。

<推奨理由>

「流域自治」「流域連携」の考えのもと、市町村や専門家、学校、関係団体等と連携を図りながら、自らが主体となって実践的な活動を幅広く展開、「環境保全意識を持ち主体的に行動できる人づくり」に積極的に取り組んでいます。